

平成18年度予算編成について

議員 高山 喬樹 安政会



それぞれの特色ある5町村の合併は、誕生と同時に多くの人から、期待と関心が寄せられている。

新市の基礎づくりと市長の公約は、初年度の当初予算は市長の所信表明にある健全財政化のなかで、新市の基盤づくりのために何に重点を置き予算編成がされるか。また市長の6つの公約は反映されてくるか。

（市長）財政状況が大変厳しいなかで、期待されるすべてに応えるのは甚だ難しい。財政の悪化をきたさないよう、スタートが大切だ。事業のなかで優先順位をつけ、できるだけ範囲で精一杯努めていくのが公約である。

（市長）18年度・19年度の総合計画は現在検討中で、18年度当初予算は全く組み立てがされていないようだ。日程的にも懸念されるが再度伺いたい。

（市長）計画策定はこれから始まる段階であり、合併協議で認められた、新市まちづくり計画を目標とせざるを得ない。新年度

予算編成は、旧5町村の継続性を大事にしていきたい。予算については、現在とりまとめであり、全体的観点から内容を見直し、精査検討していきたい。

旧5町村の16年度決算、17年度当初予算と決算見通しを比較してみると、16年度総予算額は約37億5千万円、17年度当初予算は約32億5千万円、決算見通しは約37億7千万円となる。項目的に16年度、17年度を比較してみると、民生費17年度は前年対比120%、農林水産費17%、土木費130%、教育費130%となる。17年度は旧5町村最終年度となり、基金等による大型事業もみられるが、いずれも前年対比を大きく上回っており、18年度予算は市民が期待を寄せている。

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

られ、議員のいわれる目的別予算とは異なり、長期計画は性質別で表示されている。

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

政の構築に関わってくる。旧徳高町議会のなかで長年にわたって論議されてきたことで、土地購入は、公社から移していく一連の作業で行ったことである。

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行

（市長）後半の予算だけではなく年間を通してみるべきである。旧徳高地域の宿舍事業はいずれも黒字決算である。年度末の決算見通しは黒字の見通しである。しゃくなげ荘だけの問題をとりあげているが、各地域から数々の事業が上がってきている。全市の観点から見直していくべきであり合意が必要とされる。この問題は、安曇野市の観光行



新しゃくなげ荘建設予定地の視察

市長の政治姿勢について

日本共産党安曇野市議員 下里 喜代一 議員



行財政運営は「つなげる」

（市長）合併したら山梨県南アルプス市は行財政運営の厳しき、難しさに直面している。当市は果たしてどうなのか。憲法15条「すべての公務員は全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない」とある。三位一体の改革と市民生活は両立するのにか聞きたい。

（市長）合併したらすべてバラ色という認識はない。国の強制がなくても安曇野は5町村がいつしよになつて対応している地域だ。三位一体の改革は不透明だが、行政には限界がある。歳入に見合った予算をたて、後世に大きなツケを残さないように考えている。

（市長）合併したら山梨県南アルプス市は行財政運営の厳しき、難しさに直面している。当市は果たしてどうなのか。憲法15条「すべての公務員は全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない」とある。三位一体の改革と市民生活は両立するのにか聞きたい。

（市長）合併したら山梨県南アルプス市は行財政運営の厳しき、難しさに直面している。当市は果たしてどうなのか。憲法15条「すべての公務員は全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない」とある。三位一体の改革と市民生活は両立するのにか聞きたい。

（市長）「協働」は行政が市民に押しつけるものではない。ハコモノ行政の批判があるが、借金にできるだけ頼らない自治体づくりを目指したい。

（市長）協働は行政が市民に押しつけるものではない。ハコモノ行政の批判があるが、借金にできるだけ頼らない自治体づくりを目指したい。



安曇野市社会福祉協議会指定管理者制度は

（市長）安曇野市は大変大きな荷物を背負つてのスタートである。地域で熱望されてきた事業を引き継ぎ、必要最小限の見直しをしていく。安易なアウトソーシング（公の仕事为民営化、民間委託すること）はしない。限られた財源を有効に使い、職員の数、管理、人件費抑制など課題がある。自制をし、ムダを省いて市政にあたりたい。